

暮らしをまもる 提案・行動 今度は県政で

「物価が上がるのに、年金は減られ暮らしていけない」
「介護の現場は大変」「保育士をもっと増やして」
暮らしを守るために、政治が動かなければいけない時、
市議10年で培った力で県政を動かします。

政府の
大軍拡・増税
にNO!

日本共産党

名取やすし

●1967年(昭和42年)旧櫛形町生まれ
55歳 ●南アルプス市沢登在住 ●巨摩高
校・信州大学教育学部卒 ●市議3期 ●日
本共産党県委員、党南アルプス市委員長



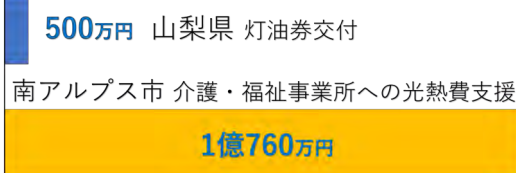
公式
HP



物価高対策の直接支援を

光熱費の高騰で、南アルプス市は事業所に総額1億760万円を支給しましたが、山梨県の灯油券交付の予算はわずか500万円(1月25日時点)。県としてもっと直接支援に力をいれるよう求めます。

光熱費補助の直接支援の予算比較



物価対策

- ・福祉灯油・生活支援の拡充
- ・農家や業者へ燃油代補助
- ・医療、介護、福祉現場への支援

医療・福祉

- ・国保税や介護保険料の負担軽減
- ・重度障害者医療費窓口無料の復活
- ・高齢者の補聴器購入費の補助を
- ・保育士の増員と処遇改善

・あらゆる分野でジェンダー平等の推進

- ・小中学校の給食費を無料に
- ・県の子ども医療費助成年齢拡大
- ・高校生のタブレットは公費負担に
- ・学費の減免、給付型奨学金の拡充

子育て支援

- ・生活道路や河川の維持管理強化
- ・農業後継者支援の拡充
- ・防災対策の強化

産業・防災

- ・不要不急の大型開発の見直し
- ・約975億円の主要基金の活用
(令和3年度決算)

財源

学校給食を無償にしよう

「教育の無償化」「子どもの貧困対策」として、給食費の無償化は大きな流れになっていますが、山梨県は市町村任せの状況です。県として給食費軽減に取り組み、市町村の取り組みを応援して、子育て支援をさらに前進させます。

山梨県内 学校給食費の無償化の状況

令和4年11月6日時点 日本共産党山梨県委員会調べ



名取やすしは県の政策として実現をめざします

南アルプス市議10年 皆さんの声を届け政治を動かしてきました



子育て支援を粘り強く求め実現

- 学校給食費の無償化をくり返し求め、昨年11月から年度内無償を実現。さらに4月以降も継続して無償化を提案し、実施の方向が示されました。
- 子ども医療費助成を18歳まで拡大できました。
- いち早く小中学校へのエアコン設置を求め実現。
- 保育料の完全無償化、保育士の処遇改善を提案。

いつもブレずに住民目線

- 高齢者タクシー券の交付や住宅リフォーム支援事業など、地元業者との懇談をもとに提案し、実現しました。
- 75歳以上の人間ドック補助を、他の議員と共に議会で繰り返し取り上げ、来年度から実施されることに。
- 「旧完熟農園」の跡地利用では、市に損失が生じないように、厳しくチェックしてきました。

命を守るためには一歩も引かない

- 南アルプス市上空で繰り返されていた米軍機の空中給油訓練の中止を防衛省に申し入れました。
- 市民への強引な差し押さえなどに対して、納税窓口の対応を改善させました。
- 財源を示して国保税・介護保険料を値下げしました。

暮らしが大変な今 税金の使い道が 問われます。

今、県の税金の使い方を見ると…

◆富裕層むけの空港や富士山登山鉄道構想

知事の計画する富士山登山鉄道構想やプライベートジェット用の空港建設。なぜ、海外の富裕層のために多額の県民の税金を使わなければならないのでしょうか。

◆弁護士費用1億4千万円を専決処分

県有地問題で1億4千万円もの弁護士費用を議会にはからず支出。県有地の使用料を認めてきた県の責任を棚上げし、賠償請求を求めても認められるはずがありません。

◆減収補てんはしない

県の物価高対策は「省エネ家電への買い替え」や「新たな設備投資」には一部補助するというもの。必要なのは物価高を乗り切るための事業者・県民への直接支援です。

県政をしつかりチェックする
モノ言える議員が必要です。



日本共産党

名取やすし

今回は県政で